

管内市町の概要



胆振・日高管内 4市14町

総面積／8,508.33km²

総人口／434,776人



むろらんし 室蘭市

■面積／81.01km² ■人口／78,109人

特色：日本遺産(炭鉱港)、日本12大工場夜景、室蘭やきとり、カレーラーメン、ボルタ、昆布、ホタテ、うずら卵
名所：地球岬、白鳥大橋記念館、イルカ・クジラウォッティング
●市名の由来：アイヌ語「モ・ルエラニ」(小さな坂道の下りた所の意)が転訛したもの。



とまこまいし 苫小牧市

■面積／561.66km² ■人口／168,186人

特色：苫小牧港、紙、自動車部品、ホッキ貝、アイスホッケー
名所：樽前山、ウトナイ湖、ノーザンホースパーク、白鳥王子アイスアリーナ、オートリゾート苫小牧アルテン、ミール展示館
●市名の由来：アイヌ語「ト」(沼の意)と「マコマイ」(山奥に入っていく川の意)が転訛したもの。



のぼりべつし 登別市

■面積／212.21km² ■人口／45,145人

特色：登別地獄まつり、登別温泉湯まつり、登別ブランド推奨品、登別闇魔やきそば、地獄の谷の鬼花火
名所：登別温泉、登別地獄谷、ひのひべつカマ牧場、登別マリンパークニクス、登別伊達時代村、カルス温泉、大湯沼川天然足湯
●市名の由来：アイヌ語「ヌブルベッ」(色の濃い川の意)が転訛したもの。



だてし 伊達市

■面積／444.21km² ■人口／32,324人

特色：伊達武者まつり、藍染め、史跡北黄金貝塚公園、有珠メロン、伊達野菜
名所：伊達市観光物産館、有珠山、有珠善光寺、だて歴史文化ミュージアム、北湯沢温泉郷
●市名の由来：この地を開拓した仙台藩の亘理伊達家一門に由来し命名したもの。
※平成18年合併(伊達市・大滝村)



とよらちょう 豊浦町

■面積／233.57km² ■人口／3,617人

特色：いちご、豚肉、ホタテ、世界ホタテ釣り選手権大会
名所：インディアン水車公園、噴火湾展望公園、礼文華海岸、天然豊浦温泉しおさい
●町名の由来：末永く豊であってほしいという願いと農産物・海産物が豊富でかつ内浦湾に面しているところから命名されたもの。



そうべつちょう 壮瞥町

■面積／205.01km² ■人口／2,356人

特色：昭和新山国際雪合戦、そくべつりんごまつり、高級菜豆、さくらんぼ、ぶどう
名所：昭和新山、有珠山、洞爺湖、オロフレ峠、壮瞥公園、壮瞥滝、北の湖記念館、壮瞥温泉、蟠溪温泉
●町名の由来：アイヌ語「ソーベツ」(滝の川の意)が転訛したもの。



しらおいちょう 白老町

■面積／425.64km² ■人口／15,697人

特色：白老牛、しあたけ、虎杖浜たらこ、鶏卵
名所：ウボボイ(民族共生象徴空間)、ボロトミンタラ、ボロトの森、史跡白老仙台藩陣屋跡、俱多楽湖
●町名の由来：アイヌ語「シラウ・オイ」(虻の多い所の意)が転訛したもの。



あつまちょう 厚真町

■面積／404.61km² ■人口／4,370人

特色：田舎まつり、厚真産ハスカップ、さくら米(ななつぼし)、あづまジンギスカン
名所：こぶしの湯あつま、浜厚真海岸、大沼野営場
●町名の由来：アイヌ語「アットマム」(向こうの湿地帯の意)が転訛したもの。



とうやこちょう 洞爺湖町

■面積／180.87km² ■人口／8,118人

特色：洞爺湖有珠山ジオパーク、洞爺湖ロングラン花火大会、ホタテ、馬鈴薯、長いも、セリリー
名所：洞爺湖、洞爺湖温泉、西山山麓火口散策路、浮見堂公園
●町名の由来：地域住民に親しまれている洞爺湖にちなんだもの。
※平成18年合併(虻田町・洞爺村)



あびらちょう 安平町

■面積／237.16km² ■人口／7,301人

特色：雪だるま小包、アサヒメロン、チーズ
名所：道の駅「あびら D51 ステーション」、せいこドーム、菜の花畑
●町名の由来：勇払川の支流の安平川に由来し、語源はアイヌ語で「アラ・ピラ・ペツ」(片割が岸になっている川)である。
※平成18年合併(早来町・追分町)



むかわちょう むかわ町

■面積／711.36km² ■人口／7,479人

特色：鶴川ししゃも、ほべメロン、恐竜等の化石
名所：一級河川「鶴川」、道の駅「むかわ四季の館」、たんぽぽ河川緑地公園、穂別博物館、穂別キャンプ場、富内銀河ステーション、ほべつ道民の森
●町名の由来：鶴川の由来は諸説あり、一説にはアイヌ語の「ムッカ・ベッ」(ふさがる川)であるとされる。
※平成18年合併(鶴川町・穂別町)



ひだかちょう 日高町

■面積／992.07km² ■人口／11,307人

特色：軟白ネギ、ひだか樹魂まつり、門別ししゃも祭
名所：一級河川「沙流川」、日勝峠、沙流川温泉ひだか高原荘、門別温泉とねつの湯、道営門別競馬場
●町名の由来：日高山脈に由来する。
※平成18年合併(日高町・門別町)



ひらとりちょう 平取町

■面積／743.09km² ■人口／4,601人

特色：ひらとりトマト、ひらとり和牛、ひらとり食の祭典、イタ、アットウシ
名所：義経神社、すずらん群生地、二風谷アイヌ文化博物館
●町名の由来：アイヌ語「ビラウトゥル」が転訛したもので、「ビラ」は丘陵の急斜面、「ウトゥル」は間の意で両崖の間にある町。



にいかつぶちょう 新冠町

■面積／585.71km² ■人口／5,186人

特色：ビーマン、アスパラ、たこ、レコード、軽種馬産地
名所：サラブレッド銀座、判官館森林公園、レ・コード館、新冠温泉
●町名の由来：アイヌ語「ニカブ」(ニレの木皮の意)が転訛したもの。



うらかわちょう 浦河町

■面積／694.30km² ■人口／11,668人

特色：銀聖、ウニ、日高昆布、夏いちご
名所：うらかわ優駿ビレッジ「AERU」、JRA 日高育成牧場、五色渓谷、赤心社記念館、優駿さくらロード
●町名の由来：アイヌ語「ウララベツ」(霧深き川の意)が転訛したもの。



さまにちょう 様似町

■面積／364.30km² ■人口／3,979人

特色：冬島昆布、アポイの火まつり、アポイ岳ジオパーク
名所：親子岩、アポイ岳、幌満峠、エンルム岬、様似山道
●町名の由来：アイヌ語「サンマウニ」(朽木のある所の意)が転訛したもの。



えりもちょう えりも町

■面積／284.00km² ■人口／4,314人

特色：日高昆布、鮭(銀聖)、ウニ、毛ガニ(風櫻)、マツカワ(王鱥)、真つぶ、えりも短角牛
名所：襟裳岬(名勝ピリカノカ)、襟裳岬風の館、豊似湖、黄金道路、猿留山道
●町名の由来：アイヌ語「エンルム」(突き出た頭「岬」の意)が転訛したもの。



しんひだかちょう 新ひだか町

■面積／1,147.55km² ■人口／21,019人

特色：蜂蜜、三石昆布、みついし牛、太陽の瞳(ミニトマト)、みついし花だより(花き)、競争馬の生産頭数日本一
名所：二十間道路桜並木、三石海浜公園、真歌公園
●町名の由来：日高山脈のふもとの街として、子どもから大人まで「ひだか」に愛着を感じており、新町の飛躍・発展の期待が込められたもの。
※平成18年合併(静内町・三石町)